

2003 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	建築教育研究小委員会	主 査 名：山田由紀子
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003年 4月 ~ 2007年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	大学院、大学、高専、工業高校の教育の現状を調査し、問題点を把握した上で今後の教育あり方を研究する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査 山田由紀子(明治大学)、幹事 荒川 利治(明治大学)、衣袋 洋一(芝浦工業大学)、岩田 利枝(東海大学)、内海 康雄(宮城工業高等専門学校)、岡田 章(日本大学)、鎌田 元康(東京大学)、長沢 夏子(早稲田大学)、西谷 章(早稲田大学)、三原 斉(ものづくり大学)、三輪 真之(東京デザイン専門学校)、元岡 展久(椋山女学園大学)、八木 幸二(東京工業大学)、渡邊 研司(連健夫建築研究室)	
設置 WG (WG 名：目的)	卒業生進路調査WG	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会は4回開催(9/6:7名、9/7:5名、10/30:4名、12/26:6名)。学会大会において研究懇談会参加。第4回建築教育シンポジウム開催。卒業生進路調査WGと共同で全国建築系大学へのカリキュラム・シラバス送付依頼。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>建築教育の問題点を委員で話し合い、各委員の興味のあるテーマについてグループを作って進めることにした。先ず、全国の建築系の大学、大学院のカリキュラムの現状を知ることが大切であるとの考えから、日本全国の建築系の大学、大学院、約150校にカリキュラムとシラバスの送付を依頼した。現在半数以上から資料の送付を受け、各委員がそれらを利用して、研究テーマに沿って解析する予定になっている。</p> <p>秋山会長から依頼のあった全国の建築系大学、大学院の卒業者の進路調査は、150校〔大学、大学院〕に調査アンケートを送付し、約半数から回答を得た。それらを、業種、職種別に解析した。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)

その他評価すべき 事項	
----------------	--